

平成 25 年度 継続事務事業評価シート

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0395	合併処理浄化槽設置及び管理事業					01	04	01	03	257	51
	事業名	0395	合併処理浄化槽設置及び管理事業	所属	190200	建設部下水道課	連絡先(記入者) 中川 雅尋 43 - 2318					
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する										

概要	事業概要	公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント整備事業等の事業認可等を除く区域で、本市に住所を有し、処理人口対象人員10人以下の合併浄化槽を設置した世帯に対し補助金を交付する				事業期間				
		平成	年度	～	平成	年度				
根拠法令・要綱等	浄化槽法、伊賀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱	審議会・委員会等								
補助金支出	有	※支出“有”の場合要綱を記入 伊賀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱				分掌事務番号				
対象(誰を、何を)	公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント整備事業等の事業認可等を除く区域で、本市に住所を有し、処理人口対象人員10人以下の合併浄化槽を設置しようとする世帯	※口対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値			
		件	197	221	197	200				
成果(どうする)	各戸からの生活雑排水が合併処理浄化槽により浄化され排出されることにより、地域の公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に寄与するとともに、自然環境、生活環境が改善され、快適な暮らしをすることができる。									
H24実施内容	合併処理浄化槽設置に要した費用の一部を補助した。(5人槽: @332,000円×105基、7人槽: @414,000円×109基、10人槽: @548,000円×7基)									

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明		
			H23	H24	H25	H26					
活動指標	合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付件数	件	目標 120.0	実績 197.0	目標 120.0	実績 221.0	197.0	200.0			
	成果指標	浄化槽補助基数率 (補助実績基数/目標補助基数)	%	目標 100.0	実績 164.2	目標 100.0	実績 184.2	100.0	100.0		
コスト		コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。									
	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
	使用料・手数料										
	国費 (補助率)	10,667	27,940	20,283	16,728	16,728	16,728	16,728	16,728	汚水処理施設整備交付金	
	県費 (補助率)	24,405	27,940	16,173	8,470	8,470	8,470	8,470	8,470	浄化槽設置促進事業補助金	
	地方債										
	その他										
	合計(A)	35,072	55,880	36,456	25,198	25,198	25,198	25,198	25,198	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	5人槽補助金	34,860	34,860	28,980	19,710	19,710	19,710	19,710	【H24年度】 5人槽@332千円×105基
			7人槽補助金	37,260	45,126	30,960	28,665	28,665	28,665	28,665	7人槽@414千円×109基
10人槽補助金			1,096	3,836	910	1,810	1,810	1,810	1,810	10人槽@548千円×7基	
繰出金(浄化槽特会)			3,214	3,777	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	【H25年度】 5人槽@276千円×105基 7人槽@344千円×90基 10人槽@455千円×2基	
その他事務経費			56	36	103	103	103	103	103	103	【H26年度以降】 5人槽@219千円×90基 7人槽@273千円×105基 10人槽@362千円×5基
小計(B)			76,486	87,635	65,203	54,538	54,538	54,538	54,538	54,538	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人		
	人件費	4,546	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数									
	人件費										
小計(C)	4,546	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622			
合計(D=(B+C))	81,032	92,257	69,825	59,160	59,160	59,160	59,160	59,160	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	45,960	36,377	33,369	33,962	33,962	33,962	33,962	33,962		
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	△ 9,583	△ 3,008	593	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額											

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することにより、住民の負担が軽減されることとなり、浄化槽設置への意欲向上につながり浄化槽普及に反映される。	(概ね) 順調		
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助するもので、国、県から、それぞれの要綱の補助基準額の1/3の補助を受け実施しており適切である。			
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	国、県の補助金額を一定規模確保するため協議を行うとともに、住民に対しては回覧文書(4月配布)や「広報いが市(5月配布分)」にて、浄化槽設置に係る補助金制度や三重県水質検査センターによる法定検査実施等に係る記事を掲載し、浄化槽設置・管理の重要性についての啓発活動を行った。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 国・県からの補助枠の拡大のため協議を行った。また、住民に対しても平成24年5月の市広報により啓発を行った。
現時点における課題及び課題に対する改善策	国費、県費を財源としているが県費の見直しが行われたため、補助金額の段階的減額を行っている。国、県の補助金額を確保できるよう強く要望するとともに、住民に対して浄化槽設置への啓発活動を継続して行う。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	下水道課 山本 昇	現状維持	合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することにより浄化槽設置への意欲向上につながるため、今後も継続していく。

基本情報	コード	名称	事業類型	IV	経常的事務事業	会計区分 コード	会計 01	款 04	項 02	目 03	細目 269	細々目 01
	事業名	0408										
	基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	所属	100600	名称	浄化センター	連絡先(記入者)	喜多田 秀樹 23 - 1179			

概要	事業概要	旧上野市市街地におけるし尿収集を希望する世帯を対象に、市職員が直接し尿収集を実施する。				事業期間			
	根拠法令・要綱等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成16年11月1日条例第152号)		審議会・委員会等	伊賀市直営し尿収集・処理事業等検討委員会				
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入			分掌事務番号	3		
	対象(誰を、何を)	旧上野市市街地におけるし尿収集を希望する世帯		※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	行き届いたサービスで満足のゆく市民サービスを受ける事ができる。							
H24実施内容	し尿収集カレンダーによる各自治会単位の収集と、緊急を要する臨時収集を実施する。また収集地域の縮小についても引き続き検討する。								

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
	活動指標	し尿収集件数	件	目標 17,500.0 実績 17,252.0	目標 17,000.0 実績 16,343.0	16,000.0	15,000.0
成果指標	し尿収集量	ℓ	目標 3,700,000.0 実績 3,712,420.0	目標 3,600,000.0 実績 3,445,606.0	3,400,000.0	3,300,000.0	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費(補助率)								
	県費(補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	需用費	4,012	4,107	4,948	4,900	4,850	4,800	4,750	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	役務費	2,008	1,977	2,058	2,000	1,950	1,900	1,850	
	使用料及び賃借料	167	2,080	3,809	4,983	5,283	5,283	5,220	
	負担金	13	13	13	13	13	13	13	
	その他事務経費			4	4	4	4	4	
		小計(B)	6,200	8,177	10,832	11,900	12,100	12,000	
人件費	正規職員	人数	11.0人	11.0人	9.0人	9.0人	8.0人	8.0人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
		人件費	62,502	63,547	51,993	51,993	46,216	46,216	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	7.0人	7.0人	8.0人	7.0人	7.0人	6.0人	
		人件費	14,185	14,324	18,298	16,539	17,894	15,549	
	小計(C)	76,687	77,871	70,291	68,532	64,110	61,765	61,765	
	合計(D=(B+C))	82,887	86,048	81,123	80,432	76,210	73,765	73,602	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	82,887	86,048	81,123	80,432	76,210	73,765	73,602	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	3,161	△ 4,925	△ 691	△ 4,222	△ 2,445	△ 163	
	対象者あたり一般財源充当額	5	5	5	5	—	—	—	

事後評価	必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
		民間許可業者によるし尿収集になると、サービス水準の低下が懸念される。	遅れ	民間許可業者との協議が不調である。
	効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
		民間許可業者が、し尿収集に必要なバキューム車・作業員等を確保しなければならない。		
	関与の妥当性	2. 利用者が減少するなど市民のニーズが低下、あるいは市民ニーズに比較してサービスの供給が過剰となっている事務事業	協働の状況など	
	実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	平成24年度に伊賀市直営し尿収集・処理事業等検討委員会にて、収集業者及びし尿汲取券取扱店と協議し、平成25年度から直営し尿収集地域を縮小して収集する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 平成24年度、民間収集許可業者と収集地域拡大の協議を行ったが、不調に終わった。	
現時点における課題及び課題に対する改善策	民間収集許可業者の収集地域拡大については、3業者のうち、A業者は受入、B業者は条件付受入、C業者は受入拒否である。引続き許可業者との協議を重ね、2業者でも収集できるよう業者と調整し、市直営し尿収集縮小地域の自治会との協議、対象市民への周知等を行う。			
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由	
	森永 典生	縮小	経費削減のため、直営し尿収集地域を縮小する。	

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 04	項 02	目 03	細目 270	細々目 52
	事業名	0412		施設整備事業								
	基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	所属	100600	浄化センター	連絡先(記入者) 喜多田 秀樹 23 - 1179					

概要	事業概要	浄化センター第1処理場及び第2処理場の設備機器を計画的に点検し、それぞれの施設・設備の補修工事を行い安全で適正な運転管理を行う。						事業期間								
								平成	16	年度	～	平成	年度			
	根拠法令・要綱等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成16年11月1日条例第152号)				審議会・委員会等										
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		2					
	対象(誰を、何を)	第1・第2処理施設の設備機器				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	設備機器を計画的に点検し、補修工事を行うことで、安全で適正な運転管理を行う事ができる。															
H24実施内容	第1処理場及び第2処理場の定期整備工事															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	工事件数	件	目標 3.0 実績 6.0	目標 6.0 実績 6.0	6.0		7.0	
成果指標	各設備機器の正常な運転	千円	目標 100,000.0 実績 108,129.0	目標 120,000.0 実績 123,589.0	130,000.0		200,000.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	使用料・手数料	48,745	47,467	46,363	45,000	44,500	44,000	43,500		
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	48,745	47,467	46,363	45,000	44,500	44,000	43,500	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	工事請負費	108,129	123,589	130,000	200,000	200,000	150,000	150,000	
		その他事務経費								
小計(B)		108,129	123,589	130,000	200,000	200,000	150,000	150,000	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費										
[収支]	正規職員	人数 0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人	人	人	人	人	人		
	小計(C)	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
合計(D=(B+C))	110,970	126,478	132,889	202,889	202,889	152,889	152,889	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
一般財源充当額(D-A)	62,225	79,011	86,526	157,889	158,389	108,889	109,389			
(うち繰越金)										
※前年度比	—	16,786	7,515	71,363	500	△ 49,500	500			
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
この事業を廃止するには、し尿処理を民間に委託することになるが、民間が処理施設を建設・維持管理していくことが難しい。	(概ね)順調		
関与の妥当性	6. 限られた財源の中で実施すべき緊急性が認められない事務事業		協働の状況など
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	定期整備個所の点検・選定を行い、的確な施設・設備整備を行うことにより、安定した運転管理を行う。老朽している第1処理場焼却施設、雑排水槽、屋上防水の改修を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 定期整備個所の点検・選定を行い、的確な施設・設備整備を行うことにより、安定した運転管理を行った。老朽している第1処理場焼却施設、雑排水槽、屋上防水の改修については、平成25年度に施設の整備方針を決定した上で判断する。
現時点における課題及び課題に対する改善策	定期整備個所の点検・選定を行い、的確な施設・設備整備を行うことにより、安定した運転管理を行う。老朽している第1処理場と第2処理場を統合(新設または改造)するか、2施設それぞれ大規模改修(長寿命化計画による延命化対策)等の検討を行う。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	森永典生	現状維持	老朽している第1処理場と第2処理場を統合(新設または改造)するか、2施設それぞれ大規模改修(長寿命化計画による延命化対策)等の検討を行い、効率的な施設の整備及び運転管理を行う。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	01	08	04	03	377	51
	事業名	571 市単下排水路整備事業	所属	190200	建設部下水道課	連絡先(記入者)						
	基本施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	西森 徹 43 - 2319									

概要	事業概要	管路施設 L=30.4Km				事業期間					
	根拠法令・要綱等					平成 5 年度 ~ 平成 28 年度					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	市街地部では雨水、また、村落部では生活雑排水などの生活排水処理施設等が未整備の区域の住民				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	管路の新設及び改修整備を行い、浸水防除、公共用水域の水質保全並びに公衆衛生の向上に寄与するとともに、自然環境、生活環境が改善され、快適な暮らしをすることができる。									
H24実施内容	【管路施設工事】 東高倉下水路 L=131m 野間下水路 L=302m 測量設計 1式										

指標	活動指標	事業実施地区数	地区	実績値		目標値		説明		
				H23	H24	H25	H26			
	成果指標	事業進捗率(投資事業費/総事業費)	%	目標	75.0	目標	77.0	80.0	84.0	全体総事業に対する投資済事業費の比率により、事業の進捗状況が把握できる。
				実績	74.0	実績	77.0			

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
		国費(補助率)	5,225								
		県費(補助率)	0								
		地方債	41,900	23,000	42,200	42,200	42,200	25,000			
	その他	7,053	12,618	8,529	8,529	8,529	12,333				
	合計(A)	54,178	35,618	50,729	50,729	50,729	37,333	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	事業費	純工事費	47,034	24,400	41,700	50,729	50,729	37,300		
		測量試験費	618	11,218	9,000						
用地補償費		6,526									
その他事務経費				29	29	29	33				
小計(B)		54,178	35,618	50,729	50,758	50,758	37,333	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
人件費	正規職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	人		
	人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	0			
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	人		
人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	0				
合計(D=(B+C))	57,019	38,507	53,618	53,647	53,647	40,222	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,841	2,889	2,889	2,918	2,918	2,889	0			
	(うち繰越金)										
※前年度比		48	0	29	0	△29	△2,889				
対象者あたり一般財源充当額											

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
管路施設の供用が出来なくなる	(概ね)順調	地区との調整を密にして、確実に実施して発注計画を立てる	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)		
昨年度記載した改善策	隣接工事、関連工事、発注時期について、地元や関係部署と十分調整を行い、効率的かつ効果的な工事発注を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 地元等との調整が十分だったため、円滑な工事発注ができた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	東高倉工区においては今年度測量・設計業務を発注した後、工事を発注するので地元や関係部署と十分調整を行い効率的かつ効果的な工事発注が必要。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
山本 昇	現状維持	公共下水道事業が具現化できない中、下排水路整備は、合併処理浄化槽の普及に最も有効な手段である。東高倉及び野間地区の地区要望は年々強く、残工事量も多いことから、引続き事業費の確保が必要となる。	

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 10	款 01	項 02	目 01	細目 587	細々目 02
	事業名	0890 花垣地区団体営農業集落排水整備促進事業(一般)	所属	190200	建設部下水道課	連絡先(記入者)						
	基本施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	西森 徹 43 - 2319									

概要	事業概要	計画処理人口 1,460人 処理施設1式 管路施設 L=21.2Km	事業期間				平成 20 年度 ~ 平成 25 年度	
	根拠法令・要綱等	浄化槽法、水質汚濁防止法、汚水処理施設整備交付金交付要綱、伊賀市農業集落排水事業分担金徴収条例	審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号	
	対象(誰を、何を)	生活排水処理施設が未整備の地域の住民	※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	住民が排出する生活雑排水を浄化処理することにより、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に寄与するとともに、自然環境、生活環境が改善され快適な暮らしをすることができる。						
H24実施内容	管路施設工事:L=3, 748m							

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明	
	活動指標	工事発注件数	件	H23	H24	H25		H26
				目標 8	目標 10	10		
成果指標	事業進捗率(投資事業費/総事業費)	%	H23	H24	100.0			
			目標 49.0	目標 65.0	100.0			
			実績 43.0	実績 63.2				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								
		国費 (補助率 50.0%)	183,478	213,852	320,000					
		県費 (補助率)	0	0	0					
		地方債	24,000	100,800	315,700					
		その他	23,079	32,653	11,800					
		合計(A)	230,557	347,305	647,500	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	純工事費	223,708	323,337	634,200					特記事項記入欄(有資格者の状況等)
		測量試験費	1,484	12,657	800					
用地補償費		1,549	6,390	5,000						
その他事務経費		3,816	4,921	7,500						
小計(B)		230,557	347,305	647,500	0	0	0	0		
人件費	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	人	人	人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
		人件費	5,682	5,777	5,777	0	0	0		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	人	人	人		
		人件費								
	小計(C)	5,682	5,777	5,777	0	0	0	0		
	合計(D=(B+C))	236,239	353,082	653,277	0	0	0	0		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,682	5,777	5,777	0	0	0	0		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	95	0	△ 5,777	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	管路施設が供用できなくなる。	(概ね) 順調	発注計画を十分検討して、繰越が生じないように努める。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	名阪国道(治田IC)を横断する下水道管の布設に伴い、上り下り各ON・OFFランプの通行規制を考慮した工法選定や工程計画が定まっていない。名阪国道及び県道の通行規制について、関係諸官庁と十分協議を行った上で工法選定や工程計画等を決定し、平成25年度の工事発注を目標に今年度中に課題の解決を図る。		左記改善策への取組状況 【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 関係官庁との調整も順調に処理処理し、工事実施に至った。
現時点における課題及び課題に対する改善策	特になし		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	山本 昇	終了	

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	10	01	02	01	587	03
	事業名	0891 依那古地区団体営農業集落排水整備促進事業(一般)	所属	190200	建設部下水道課	連絡先(記入者)						
	基本施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	西森 徹 43 - 2319									

概要	事業概要	計画処理人口 2,720人 処理施設1式 管路施設 L=24.1Km						事業期間 平成 20 年度 ~ 平成 25 年度			
	根拠法令・要綱等	浄化槽法、水質汚濁防止法、汚水処理施設整備交付金交付要綱、伊賀市農業集落排水事業分担金徴収条例				審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	生活排水処理施設が未整備の地域の住民				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	住民が排出する生活雑排水を浄化処理することにより、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に寄与するとともに、自然環境、生活環境が改善され快適な暮らしをすることができる。									
H24実施内容	管路施設工事:L=3, 440m										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
	活動指標	工事発注件数	件	H23		H24		H25		H26
				目標	9	目標	12	10		当初の発注計画により発注できたかを判断できる。
成果指標	事業進捗率(投資事業費/総事業費)	%	目標	46.0	目標	70.0	100.0		全体総事業に対する投資事業費の比率により、事業の進捗状況が把握できる。	
			実績	45.0	実績	60.0				

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
		国費 (補助率 50.0%)	242,448	213,212	410,000						
		県費 (補助率)	0	0	0						
		地方債	62,700	194,600	415,800						
	その他	33,789	41,712	4,200							
	合計(A)	338,937	449,524	830,000	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	事業費									
		純工事費	319,471	392,703	793,300						
		測量試験費	5,927	23,151	4,000						
		用地補償費	9,781	26,149	22,700						
		その他事務経費	3,758	7,521	10,000						
	小計(B)	338,937	449,524	830,000	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
	人件費	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	人	人	人	人	
人件費		5,682	5,777	5,777	0	0	0	0	0		
臨時・嘱託・再雇用職員		人数	0.5人	0.5人	0.5人	人	人	人	人		
人件費	5,682	5,777	5,777	0	0	0	0	0			
小計(C)	5,682	5,777	5,777	0	0	0	0	0			
合計(D=(B+C))	344,619	455,301	835,777	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,682	5,777	5,777	0	0	0	0	0		
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	95	0	△ 5,777	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額											

事後評価	必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業													
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性		※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
		管路施設が供用が出来なくなる。			(概ね)順調		発注計画を十分検討して、繰越が生じないように努める。								
	関与の妥当性					協働の状況など		地元実施委員会が事業が円滑に進むよう協力的							
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)		負担金・補助金・交付金		※委託内容及び委託先の存在									
		委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)											
	昨年度記載した改善策	実施委員会並びに地区役員、地区住民と十分調整し、綿密な施工計画により工事を行う。また、予期せぬ地下埋設物による支障や突発的な事態に備えて、早期発注に努めて年度内完了を目指す。				左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。							
		地区住民と十分調整し工事を行い、早期発注をしたが湧水対策、水道移設などに時間を要した。													
	現時点における課題及び課題に対する改善策	依那具工区は管路埋設の掘削時に湧水が多いため、深堀が困難な部分があり、一部工法変更が必要なため、地元調整を要する。													
	今後の方向性	担当課長氏名	山本 昇	方向性	終了	理由									

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	10	01	02	01	588	03
	事業名	0893 花垣地区市単農業集落排水整備事業	所属	190200	建設部下水道課	連絡先(記入者)						
	基本施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	西森 徹 43 - 2319									

概要	事業概要	計画処理人口 1,460人 処理施設 1式 管路施設 L=6.5Km						事業期間 平成 20 年度 ~ 平成 25 年度			
	根拠法令・要綱等	浄化槽法、水質汚濁防止法、汚水処理施設整備交付金交付要綱、伊賀市農業集落排水事業分担金徴収条例				審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	生活排水処理施設が未整備の地域の住民				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	住民が排出する生活雑排水を浄化処理することにより、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に寄与するとともに、自然環境、生活環境が改善され快適な暮らしをすることができる。									
H24実施内容	管路施設工事:L=457m										

指標	活動指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
				H23		H24		H25	H26	
	成果指標	事業進捗率(投資事業費/総事業費)	%	目標	8	目標	10	10		当初の発注計画により発注できたかを判断できる。
				実績	9	実績	11	100.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								特記事項記入欄(積算基礎等)
		国費(補助率)	0	0	0					
		県費(補助率)	0	0	0					
		地方債	91,000	76,000	103,300					
		その他	10,483	22,943	2,200					
	合計(A)	101,483	98,943	105,500	0	0	0	0		
	[支出]	純工事費	81,724	75,999	83,700					特記事項記入欄(有資格者の状況等)
		測量試験費	16,243	14,384	17,700					
		用地補償費	3,488	8,342	3,600					
		その他事務経費	28	218	500					
		小計(B)	101,483	98,943	105,500	0	0	0	0	
	人件費	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	人	人	人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	人	人	人	
人件費		5,682	5,777	5,777	0	0	0	0		
小計(C)		5,682	5,777	5,777	0	0	0	0		
合計(D=(B+C))	107,165	104,720	111,277	0	0	0	0			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,682	5,777	5,777	0	0	0	0		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	95	0	△ 5,777	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
管路施設が供用できない	(概ね) 順調	発注計画を十分検討して、繰越が生じないように努める。	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	名阪国道(治田IC。)を横断する下水道管の布設に伴い、上り下り各ON・OFFランプの通行規制を考慮した工法選定や工程計画が定まっていない。名阪国道及び県道の通行規制について、関係諸官庁と十分協議を行った上で工法選定や工程計画等を決定し、平成25年度の工事発注を目標に今年度中に課題の解決を図る。		左記改善策への取組状況 【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 関係官庁との調整も順調に処理し、工事に至った。
現時点における課題及び課題に対する改善策	特になし		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	山本 昇	終了	

事業名	0894	依那古地区農業集落排水整備事業	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	10	01	02	01	588	04
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	所属	190200	建設部下水道課	連絡先(記入者)			西森 徹 43 - 2319			

事業概要	計画処理人口 2,720人 処理施設 1式 管路施設 L=5.5Km					事業期間 平成 20 年度 ~ 平成 25 年度				
根拠法令・要綱等	浄化槽法、水質汚濁防止法、汚水処理施設整備交付金交付要綱、伊賀市農業集落排水事業分担金徴収条例				審議会・委員会等					
補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号				
対象(誰を、何を)	生活排水処理施設が未整備の地域の住民				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
成果(どうする)	住民が排出する生活雑排水を浄化処理することにより、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に寄与するとともに、自然環境、生活環境が改善され快適な暮らしをすることができる。									
H24実施内容	管路施設工事:L=1092m									

項目	単位	実績値		目標値		説明
		H23	H24	H25	H26	
活動指標	工事発注件数	件	9	11	10	当初の発注計画により発注できたかを判断できる
成果指標	事業進捗率(投資事業費/総事業費)	%	56.0	77.0	100.0	全体総事業に対する投資事業費の比率により、事業の進捗状況が把握できる。

項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料								特記事項記入欄(積算基礎等)
	国費(補助率)	0	0	0					
	県費(補助率)	0	0	0					
	地方債	77,400	74,900	119,800					
	その他	10,195	7,852	700					
	合計(A)	87,595	82,752	120,500	0	0	0	0	
[支出]	事業費								特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	純工事費	62,114	52,970	92,600					
	測量試験費	16,236	13,277	20,000					
	用地補償費	9,232	16,280	7,400					
	その他事務経費	127	225	500					
	小計(B)	87,709	82,752	120,500	0	0	0	0	
	人件費								特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	人	人	人	
		人件費	5,682	5,777	5,777	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	人	人	人	
		人件費							
	小計(C)	5,682	5,777	5,777	0	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	93,391	88,529	126,277	0	0	0	0	
[収支]	一般財源充当額(D-A)								特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
	(うち繰越金)	5,796	5,777	5,777	0	0	0	0	
	※前年度比	—	△ 19	0	△ 5,777	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	管路施設が供用できなくなる。	(概ね)順調	発注計画を十分検討して、繰越が生じないように努める。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	実施委員会並びに地区役員、地区住民と十分調整し、綿密な施工計画により工事を行う。また、予期せぬ地下埋設物による支障や突発的な事態に備えて、早期発注に努めて年度内完了を目指す。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 地区住民と十分調整し工事を行い、早期発注をしたが湧水対策、水道移設などに時間を要した。
現時点における課題及び課題に対する改善策	依那具工区は管路埋設の掘削時に湧水が多いため、深堀が困難な部分があり、一部工法変更が必要なため地元調整を要する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	山本 昇	終了	

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	10	101	02	01	588	02
	事業名	0892 山田南地区市単農業集落排水整備事業	所属	190200	建設部下水道課	連絡先(記入者)	西森 徹 43 - 2319					
	基本施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する										

概要	事業概要	管路施設工事 L=2,500m 汚水処理施設工事 1式				事業期間 平成 25 年度 ~ 平成 30 年度					
	根拠法令・要綱等	浄化槽法、水質汚濁防止法、汚水処理施設整備交付金交付要綱、伊賀市農業集落排水事業分担金徴収条例				審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	生活排水処理施設が未整備の地域の住民				※対象件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値
	成果(どうする)	住民が排出する生活雑排水を浄化処理することにより、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に寄与するとともに、自然環境、生活環境が改善され快適な暮らしをすることができる。									

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H24	H25	H26	H27	
	活動指標	工事発注件数	件		1	2	
成果指標	事業進捗率(投資事業費/総事業費)	%		2	10	36	全体総事業に対する投資事業費の比率により、事業の進捗状況が把握できる

コスト	項目		コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
			H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
	[収入]	使用料・手数料								
		国費 (補助率 50.0%)								
		県費 (補助率)								
		地方債			0	16,300	57,200	61,900	75,500	
		その他			5,600	1,900	6,400	6,800	8,400	
		合計(A)	0	0	5,600	18,200	63,600	68,700	83,900	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	純工事費			0	0	53,000	54,000	70,000	
		測量試験費			5,536	18,000	8,000	11,000	10,400	
		用地補償費			0	0	2,000	3,000	3,000	
		その他事務経費			64	200	600	700	500	
			小計(B)	0	0	5,600	18,200	63,600	68,700	83,900
	人件費	正規職員	人数	人	0.5 人	0.5 人	0.5 人	0.5 人	0.5 人	
			人件費	人	0	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889
臨時・嘱託・再雇用職員		人数	人	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人		
		人件費	人	0	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	
	合計(D=(B+C))	0	0	8,489	21,089	66,489	71,589	86,789	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	0	0	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
	※前年度比	—	—	2,889	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等			
新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
山田南地区地域は大山田地区家庭雑排水処理施設により処理しているが、簡易施設であるため放流水質が悪く、公共水域への影響がある。このため、集合処理整備への意向が強く、地区住民からの要望が強い。	国・県との協議を継続すると共に、地区との協議を重ね処理施設用地の決定や事業同意を経て、交付金事業として事業採択の予定。	合併処理浄化槽の放流先がない中、農業集落排水事業への期待は大きい。その反面、地区内の高齢化も進んでいることから、長期に亘る事業期間や宅内排水工事費の負担が重い。	処理区域内の測量・設計業務、管路施設工事と併せて行う汚水処理施設工事の完成後に供用開始となる。

事前評価	
必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業
有効性	2. 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。
効率性	4. 本事務事業の企画に際して、代替案を検討した。
特記事項	農業集落における農業用排水の水質保全、農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質を保全するため、農業集落排水事業の整備が必要となる。
特記事項	公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全のため、農業集落排水事業による面整備が効率である。
特記事項	合併処理浄化槽設置(戸別)と比較したが、各戸からの放流先がないため、生活排水処理施設整備率が進まない状況の中、集合処理による整備は効果が大きい。
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 山本 昇 生活排水処理施設整備率の向上を図る上で、農業集落排水事業は補助(交付金)による負担軽減と即効性のある整備により効果的な手法と考える。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	04	02	01	260	01
	事業名	2516 清掃管理経費	所属	100600	名称	人権生活環境部浄化センター						
	基本施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	連絡先(記入者)		喜多田 秀樹 23 - 1179							

概要	事業概要	昭和59年度稼働の第1処理場(処理能力80kl/日)と平成8年度稼働の第2処理場(処理能力70kl/日)があるが、施設の老朽化が著しく、今後、2施設の統合(新設または改造)か、2施設それぞれ大規模改修(長寿命化計画による延命化対策)等の検討を行う。						事業期間		平成 25 年度 ~ 平成 25 年度		
	根拠法令・要綱等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成16年11月1日条例第152号)			審議会・委員会等		一般廃棄物施設のあり方検討委員会					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		1	2
	対象(誰を、何を)	し尿処理施設			※対象件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値		
	成果(どうする)	老朽施設の改修や施設の新設を行うことで、安全で適正な運転管理を行う事ができる。										

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H24	H25	H26	H27	
	活動指標	検討委員会開催回数	回		3.0		
成果指標	施設整備の方法	件		2.0			

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		使用料・手数料									
	[収入]	国費(補助率)									
		県費(補助率)									
		地方債									
		その他									
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	委託料			6,300						
		その他事務経費									
		小計(B)	0	0	6,300	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
		人件費	正規職員	人数	人	0.5	人	人	人	人	
			臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人		人	人	人	人	
			人件費			2,889	0	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	0	0	9,189	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	0	0	9,189	0	0	0	0			
	※前年度比	—	—	9,189	△ 9,189	0	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額			9,189							

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等			
新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
老朽している処理施設の維持修繕に多額の経費を要している。	財政が厳しい中、循環型社会形成推進交付金を活用しながら、施設整備事業を進めていく。		平成25年度中に、施設整備方針を決定する。

事前評価		
必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	特記事項
有効性	1. 事務事業を実施しない場合の市民への影響は大きい。	特記事項 し尿処理ができなくなる。
効率性	1. 事業費や整備後の管理経費の算定にあたって、コスト削減策を考えている。また、将来のコスト増要因について対策を考えている。	特記事項 事業費や整備後の管理経費の算定を業者に委託する。
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 森永 典生	事業費及び整備後の運転管理費を検討のうえ、老朽している第1処理場と第2処理場を統合(新設または改造)するか、2施設それぞれ大規模改修(長寿命化計画による延命化対策)等の施設整備方針を決定する。

基本情報 table with columns: 事業名 (2544), 基本施策 (22), 名称 (長寿命化計画策定経費), 事業類型 (I), ソフト事業, 会計区分コード (11), 会計 (01), 科目 (02), 細目 (01), 細々目 (591, 04), 所属 (190200), 名称 (建設部下水道課), 連絡先 (西森 徹 43-2319)

概要 table with columns: 事業概要 (公共下水道新都市及び柘植処理区の長期経営的な維持管理を実施するため「下水道長寿命化支援制度」による長寿命化計画を策定し、計画的な改築を行う。平成25年度～平成26年度:下水道長寿命化計画の策定 平成27年度～平成29年度:計画に基づく改築工事の実施), 事業期間 (平成 25 年度 ~ 平成 29 年度), 根拠法令・要綱等 (下水道法、補助金適正化法、社会資本整備総合交付金要綱), 審議会・委員会等, 補助金支出 (※支出“有”の場合要綱を記入), 分掌事務番号, 対象(誰を、何を) (機械・電気設備において標準耐用年数が経過する上野新都市浄化センター及び柘植浄化センター ※標準耐用年数:15年[主な機械及び装置]), ※対象件数, 単位, H24実績, H25見込, H26目標値, H27目標値, 成果(どうする) (下水道処理施設の老朽化等による機能停止を未然に防止するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図るため、[長寿命化支援制度]を活用して、計画策定並びに施設の改築事業を実施する。)

指標 table with columns: 項目, 単位, 実績値 (H24, H25, H26, H27), 目標値 (H24, H25, H26, H27), 説明. Includes 活動指標 (工事発注件数) and 成果指標 (事業進捗率).

コスト table with columns: 項目, H23決算額, H24決算額, H25当初額, H26計画額, H27計画額, H28計画額, H29計画額, 特記事項記入欄. Includes 収入 (国費, 県費, 地方債, その他) and 支出 (事業費, 人件費) sections.

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等 table with columns: 新たに企画した背景は何か?, 取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し), 関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?, どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?. Includes text about sewerage facility aging and support system.

事前評価 table with columns: 必要性, 有効性, 効率性, 事業実施に対する担当課長の意見. Includes evaluation criteria and comments on the project's value and cost management.